１．基本情報

体験談記入日（☆）	2023 年　1 月　14 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部経済経営学科
留学時の学年（☆）	2 年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑ 交換留学　□ 研究留学助成金 □ その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	台湾
滞在都市（☆）	台北市、新北市
留学先大学等名（☆）	国立台湾大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	社会科学院
留学先で主に使用した言語	英語、中国語
渡航先への入国日（☆）	2022 年　9 月　14 日
渡航先からの出国日（☆）	2022 年　12 月　25 日
渡航先国での滞在期間（☆）	約 3 ヶ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	Principle of Microeconomics (with Recitation)
履修期間	9/5～12/16
授業時間（〇分×△回）	50 分×5 回×15 週
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	4
履修科目名称	Financial Market and Derivatives
履修期間	9/8～12/15
授業時間（〇分×△回）	50 分×3 回×16 週
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	General Chinese Language Course (1)
履修期間	9/13～12/22
授業時間（〇分×△回）	50 分×6 回×15 週
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	
履修期間	

授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	5～10%くらい
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	試験 50%，課題 30%，授業内の課題 20%くらい
履修科目の制限等（あれば）	

（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	英語の授業はいくつか開講されているので英語のみで受講することはできるが、留学生が少なく学生が中国語で会話している授業も多くある。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	英語で開講されている授業は基本的には留学生がいても問題ないように授業が進められている。
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	充実していた。食堂は安くて美味しい。
図書館について	とても広く、自習スペースも充実していた。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	留学担当の方々がとても親切で、わからないことがあればいつでも助けてくださる。
オリエンテーション等学校主催の行事について	
現地の学生との交流について	留学生のコミュニティーの中にいると、自分から積極的に声をかけないとなかなか話す機会はなかった。
他の留学生との交流について	中国語の授業をとっていたので、そこで他の留学生と話す機会が多かった。
学外での活動について(地域コミュニティー活動等)	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	Visitor’s VISA
ビザの取得手続について(申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	大阪の台湾領事館で取得。 コロナで VISA が解禁された直後だったので、出国の約一ヶ月前にようやく申請でき、取得までは２週間かかった。 事前に予約が必要だったり、書類が多くややこしかったりしたのでしっかり準備してから向かうべき。
利用航空会社	チャイナ・エアライン

入国の際の現地空港名	桃園国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	隔離ホテルに直接移動だったので隔離タクシーを利用。
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	コロナ禍のため、人との接触が最低限になるよう流れ作業で行われた。
渡航後の手続き(在留届の提出、外国人登録等)	半年の留学では特に必要なかったが、発行所によってはVISAの期限が短くて延長が必要な人がいたので、VISAが発行されたら確認するべき。
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	70 周年記念事業 海外渡航奨学金
奨学金月額受給額（円）	留学後に 80,000 円
入国時に用意した金額	
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて(ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性)	使えない店が多かった。
留学中に利用した銀行名	
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	無
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	約 60,000 円
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	学生寮（留学生用）４人部屋
家賃	月 3,800NTD(約 17,500 円)、水道代込み電気代別
住居を探した方法・時期	大学からの連絡で決めた。 コロナのために留学生には学生寮は準備できないかもと言われていたが、NTU が他大学の寮から留学生用に借りたワンフロアに入寮した。
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	必要なものは入国時に持っていき、冬服などは後から国際郵便で送ってもらった。帰国時も重たいものは国際郵便で先に日本に送った。
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	寮には簡易的なキッチンしかなく、水道(熱湯も出る)と電子レンジしかなかったので自炊はしなかった。 朝ごはん屋さんから夜ご飯屋さんまでお店が数多くあったので食事には困らなかった。
1ヶ月の食費	9,000NTU(約41,000円)ほど
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	日本にいる人と電話するときはLINE電話を使用していた。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	大学内と寮にはWi-Fiがあった。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本から持っていったパソコンを使用。
郵便について	大学内にも郵便局があり、荷物をおくるときは持ち込めば対応してもらえた。内容物を書かなければいけない。
交通機関について	地下鉄が走っており、バスもあるため基本的に乗り継げば台北のどこにでも行ける。また、Ubikeという貸し出し自転車があり、登録すれば街中にある自転車を安く乗り回す事ができるので近場の移動にとても便利。
治安について	比較的いいと思う。
保険について	留学用の保険に加入していた。
医療機関・薬について	
気候と服装について	夏はとても暑いが、冬が近づくにつれて急に寒くなったりまた暖かくなったりして服装が難しかった。日本よりは温暖だが思っていたより冬は寒かった。
普段の買い物について	スーパーやコンビニが寮の下にあったのでそこに行っていた
娯楽・行事について	土日を利用して旅行に何度か行った。また、NTUのSports Festivalに参加した。
日本語の使用について	日本人の友人とは主に日本語で話していた。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	基本的には現地で購入できるが、日本のものは日本よりもかなり高値で売られているので、日本製にこだわりがある人は日本から持っていくべき。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	入国後は大学や寮で手続きが多かったので、必要書類は準備してから行くほうがいい。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セ	

ミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	IELTS を受験したほか、中国語のレッスンの回数を増やして語学力を鍛えた。
留学中の学習方法、工夫したこと等	授業もレジュメもすべて英語だったためとても難易度が高く、予習復習をしたり単語を書き出したりした。 中国語の授業は単語帳を作ったりまとめノートを作ったりして何度も読み返した。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	実感としては、外国語で人と話すことや連絡を取ることに対しての恐怖心が和らいだ。

８．その他

留学して得られたこと	多くの友人と国際的な視点
留学中に困ったこと	日本食の恋しさ
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	阪大経済から NTU に留学された先輩の体験談を何回も読んだ。

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

国立台湾大学への留学を経て感じたことやこれから留学に行くみなさんにお伝えしたいことを何点かに分けてお話したいと思います。コロナ禍での留学で大変なことも多くありましたが、素敵な人々に囲まれ、留学に行かなければすることのできないような貴重な体験をたくさんすることができました。私の体験談が少しでもこれから留学に行く皆様のお役に立つことができれば幸いです。

・留学を決めた理由

まず、国立台湾大学への留学を決めた理由をお話します。私は高校生の頃から中国語を習

い始め、高校生の間に二度台湾への３週間の短期留学を経験しました。そのときに国立台湾大学が台湾で最高峰の学びを受けられる大学であると知り、大学生になったら交換留学で行くと決めていました。就職活動に支障をきたしたくなかったため、入学後すぐにIELTS を受験するなど留学準備を始め、今回２年の後期に留学をすることができました。

・コロナ禍での留学

私が台湾に留学をすると決まった頃、台湾はまだ交換留学生の受け入れを許可しておらず、実際に許可が降りたのは留学開始予定であった８月でした。そこから VISA を取得したため、予定より一ヶ月遅れた９月中旬に入国しました。入国後は隔離ホテルで８日間隔離されました。隔離ホテルは三食付きで充実していましたが、自費なので隔離されているだけで 10 万円ほどかかりました。その間に大きな地震が起こるなど色々ハプニングがあり、留学で最も長く感じた８日間でした。授業は 9 月頭から始まっていたので、オンラインで授業に参加していました。そのため、中国語の授業などグループワークの多いクラスでは少し輪に入りにくいなど困難もありました。今では台湾は隔離無しでの観光客の受け入れを再開しているので、これから留学に行かれる方は大丈夫だと思いますが、このような経験もなかなかないことなのでお伝えしておきます。もし留学に行くときに隔離があるなら、一人でも時間の潰せるものや万が一ご飯が合わなかったときのためにインスタントのものを持っていくといいと思います。私は、台湾大学で受講している授業の範囲の日本語の教科書を持っていき、暇な時間に勉強していました。

・現地での授業

ほとんどの留学生は英語開講の授業をとります。私は中国語の学習や留学生との交流に重きを置きたかったのでそれほど多くの授業は取りませんでした。しかし、週 5 コマあるものなど重めの授業をとったので、授業についていくのに必死でした。単位取得数としては多くはないですが、一つ一つの授業にしっかり時間を割けたので、個人的には良かったなと思います。授業に関して最も困ったことは、金融の授業に留学生がほとんどいなかったために、先生と生徒の授業中の会話やテスト中の大事な連絡などが中国語で行われていたことです。中国語は習っていましたが、ネイティブのスピードで会話されるととっさについていくことができず、諦めたことが多かったです。しかしそれ以外は留学生であるために授業で困ることはなく、集中して授業に取り組むことができました。私は 2 回生での留学だったため、まだ習ったことのない範囲が多く、知らない分野をいきなり英語で学ぶのはすごく大変でしたが、先生やクラスメイトがたくさん教えてくださったおかげで無事に最後まで受けることができました。自分で頑張ることももちろん大切ですが、異国の地では特に周りと助け合うことも大切だなと感じました。

・楽しかったこと

ここまで入国や授業などの真面目な話をしたので、留学での楽しかったことをご紹介します。私は今回の留学でここには書ききれないくらいたくさんの楽しい経験をしました。そ

の中からいくつか抜粋してお話します。まず、台湾はご飯が美味しいです。毎食外食だったので、何を食べるか考えるのが毎日の楽しみでした。何度か旅行もしましたが、それも各地の美味しいものを巡り歩くのが一番楽しかったです。また、私は中国語の勉強が好きで留学に行く前も行ってからもたくさん勉強をしていたので、中国語を使ってお話できるのが嬉しかったです。普段の中国語の授業での友達とはできるだけ中国語で話し、旅先などでお店に行ったりタクシーに乗ったりしたときには現地の人とお話する機会を逃さまいとたくさんお話して勉強しました。選挙や政治について熱くお話されるタクシーの運転手さんもいて少し返答に困りましたが、そのような難しい話題について中国語で話せていることが嬉しくてめげずに話し続けました。そして、私が一週間で最も楽しみにしていたのは中国語の授業です。中国語を勉強することももちろんとても楽しかったですが、私の周りがスペイン語圏の人が多く、いつも休み時間などに言語交換をするのがすごく楽しみでした。教えた日本語を覚えて使ってくれるのも嬉しかったですし、日本語の作りに関する素朴な疑問などもすごく新鮮で、私もきちんと日本語について理解したいなと思わせてもらいました。言語交換をすることは他言語を学べるだけでなく、自国の言葉について新しい発見もすることができるのでとてもいいものだと思います。留学に行かれた際にはぜひ言語交換をする機会を作ってみてください。

最後になりましたが、留学をするにあたって支えてくださったすべての方に心から感謝申し上げます。自分ひとりではこのような素敵な経験はできなかったと思います。本当に留学してよかったと思えるような充実した日々を過ごし、多くの学びを得ることができました。これから留学される皆さん、留学というのは大きな勇気がいるものですが、その先にきっと素敵な人生が待っています。ぜひ一歩踏み出して広い世界を見てきてください。応援しています。